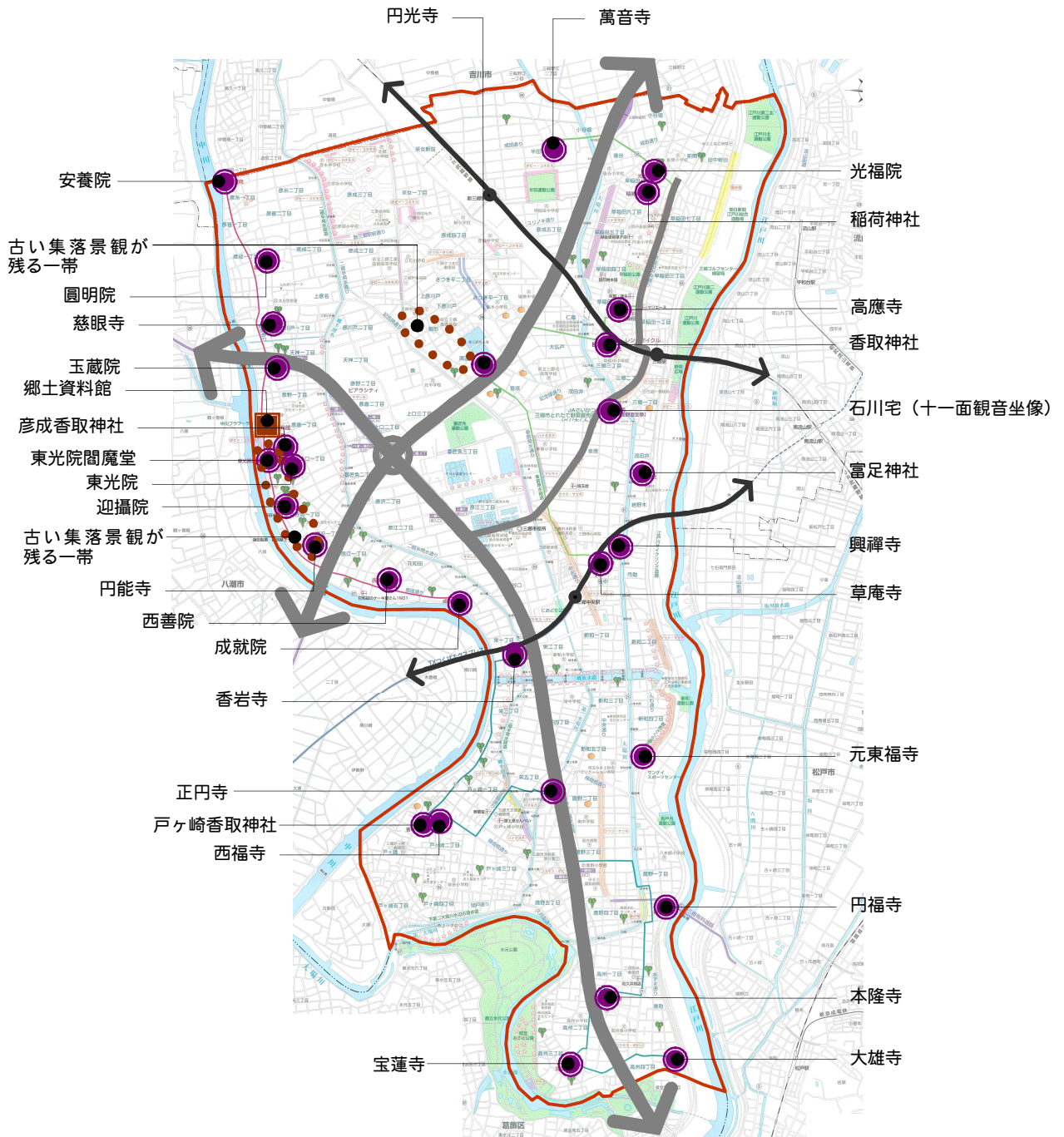


2) 歴史・文化及び集落景観

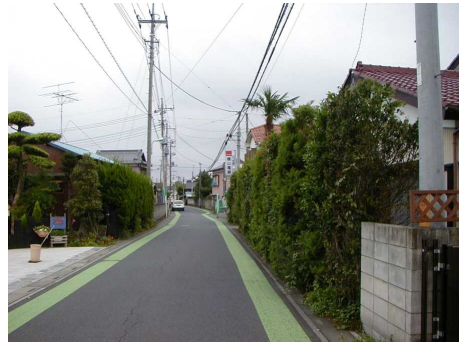
○市内における歴史・文化に関連した景観資源は下図のように分布している。

○中川沿いの彦成通りには古い集落の面影が残されており、歴史・文化に関連した景観資源が市内
で最も集中しているエリアである。

○寺社以外のものとしては、郷土資料館や石造の蔵などがある。



(三郷市観光ガイドマップ)



◆彦成通りの風景

彦成通りは古くからの集落が形成されたところであり、建て替えも進んでいるが、現在でも昔の面影を残す風景を感じることができる。



◆安養院

樹齢 550 年の大銀杏があり、地域のシンボルとなっている。



◆戸ヶ崎香取神社の獅子舞

毎年 7 月、三匹の獅子が舞うもので、市の指定文化財となっている。



◆石蔵

集落の中には石蔵が点在し、市内に残る貴重な歴史的な景観資源として重要である。



◆郷土資料館

旧彦成尋常高等小学校の講堂であり、文化財や民俗資料が展示されている。



◆延命院の社寺林

緑に囲まれた寺院や神社は独特の雰囲気を感じさせる空間として貴重である。



◆屋敷林

屋敷林は年々、減少傾向にあるが、これを保全していく必要がある。